

オホーツク地域における金融サービス向上委員会 第7回委員会

開催の経緯・目的

- 金融仲介機能の質の向上を図り、地域課題の解決に向けて取り組んでいくため、令和2年12月に金融機関を中心とした体制・枠組みとして「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」を設置。
- 第3回委員会（令和5年6月開催）での議論を経て、この1年間、委員会として「ビジネスマッチングの活性化に向けた取組みの深化」、「地域商社設立に向けた研究・検討の継続」、「金融機関・支援機関の横連携による事業者支援スキームの構築」に取り組んできた。今般、活動実績や研究成果について分科会から報告を受けるとともに、今後の委員会の活動について議論するため、参加機関代表クラスによる「委員会」を開催した。

委員会の概要

- ・日 時 令和6年6月4日（火） 10:00～12:00
- ・場 所 北見プラザホテル ※対面形式で開催
- ・参加機関 北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用保証協会、日本政策金融公庫、北海道財務局 ※1機関は欠席
- ・次 第 ①開会挨拶（金融サービス向上委員会委員長 伴 網走信用金庫理事長）
②分科会の活動報告及び今後の活動について（分科会に設置したプロジェクトチームリーダー・サブリーダー）
③委員長の選出
④閉会挨拶（北海道財務局 大久保 北見出張所長）

当日の様相



委員が一堂に会して対面形式で開催。分科会から1年間の活動報告及び今後の活動について説明を受けた。



伴委員長
開会挨拶



各委員から様々な意見や質疑が出された。



オホーツク地域における金融サービス向上委員会 第7回委員会

第7回委員会での確認事項

1. 分科会の活動報告及び今後の活動について

分科会からの報告（次ページ参照）を踏まえ、委員会から分科会に対して次の点をお願いする。

- ①分科会において今後取り組む事項を着実に実施のうえ、進捗状況の報告。②地域商社の設立について、設立の可否の判断に必要な情報を整理のうえ報告。③支援スキームの構築について、早期に試験運用を行い、課題の洗い出しを行い、本格運用に向けた検討結果の報告をすること。

2. 金融サービス向上委員会委員長の選出について

- 委員長を改選（任期1年間）。次期委員長には、市川 裕記 遠軽信用金庫理事長が就任する。

委員会での主な意見

- ✓ ビジネスマッチングに関し、オホーツク財団も志を同じにする組織であり、協力関係を維持してはどうか。
- ✓ 各金融機関でビジネスマッチングや商談会に取り組んでおり、それらを踏まえて共存の仕方を模索することが今後の課題である。
- ✓ ビジネスマッチングについて、脱炭素に資する新技術やそれを応用した新商品などの発信や紹介が出来たら良い。また、地元の大学の研究成果と事業者との結び付けを行ってほしい。
- ✓ グループワークについて、業者自身が自社商品の分析や課題を抽出してもらおう、この取り組みは非常に意義がある。
- ✓ ビジネスマッチングについて、商談会に参加したことがない事業者がまだ3割くらいいるので、その中で深掘り出来る余地はある。また、数多くの方々に参加出来るような活動にして頂きたい。
- ✓ 商社アンケートで事業者と地方公共団体・支援団体の販路拡大先が全く逆（事業者はオホーツク管内、地方公共団体等はオホーツク管外）になっているが、このギャップを分析すると、より良い活動になるのではないか。
- ✓ 商社アンケート結果を基に出来る事がどこにあるかなど、自治体と連携をとりながら、もっと情報を交換してほしい。
- ✓ 地域商社については、非常にハードルが高い。
- ✓ 当委員会は3年が経過しており、今までの意見も踏まえて、委員会としてもある程度の方向性、活動計画を踏まえた総括の検討が必要な時期になってきているのではないか。

分科会からの活動報告及び今後の活動について

分科会

ビジネスマッチングPT

【目的】ビジネスマッチングやセミナーの開催

- ✓ オホーツク地域の商材を発信するため、他機関との連携を検討。
- ✓ セミナーやグループワーク、ビジネスマッチングの実施を検討し、セミナーや商談会参加への募集協力。

地域商社PT

【目的】地域商社設立に関する研究

- ✓ オホーツク地域の課題を明確化するため、自治体・支援機関・事業者に対しアンケートを実施。
- ✓ 事業者支援スキームについて、試験的運用の検討。

【今後、委員会として取り組む事項】

1. ビジネスマッチング実施に向けた取り組み

- ✓ 事業者向けビジネスマッチングセミナーの開催を継続
- ✓ 事業者の抱える問題点をアウトプットさせ、現状を整理・ブラッシュアップさせるためにグループワークを実施

2. 「地域商社」設立に向けた研究・検討の継続

- ✓ 地域商社の設立に関して、必要な体制や仕組み及び事業を継続していけるかという採算性の検討
- ✓ これらを来年の委員会までに整理し、「地域商社」設立の可否判断について上申

3. 金融機関・支援機関の横連携による事業者支援スキームの構築

- ✓ 他地域の事例を参考に、管内の金融機関・支援機関が情報連携・横連携して「具体的な支援スキーム」の試験運用